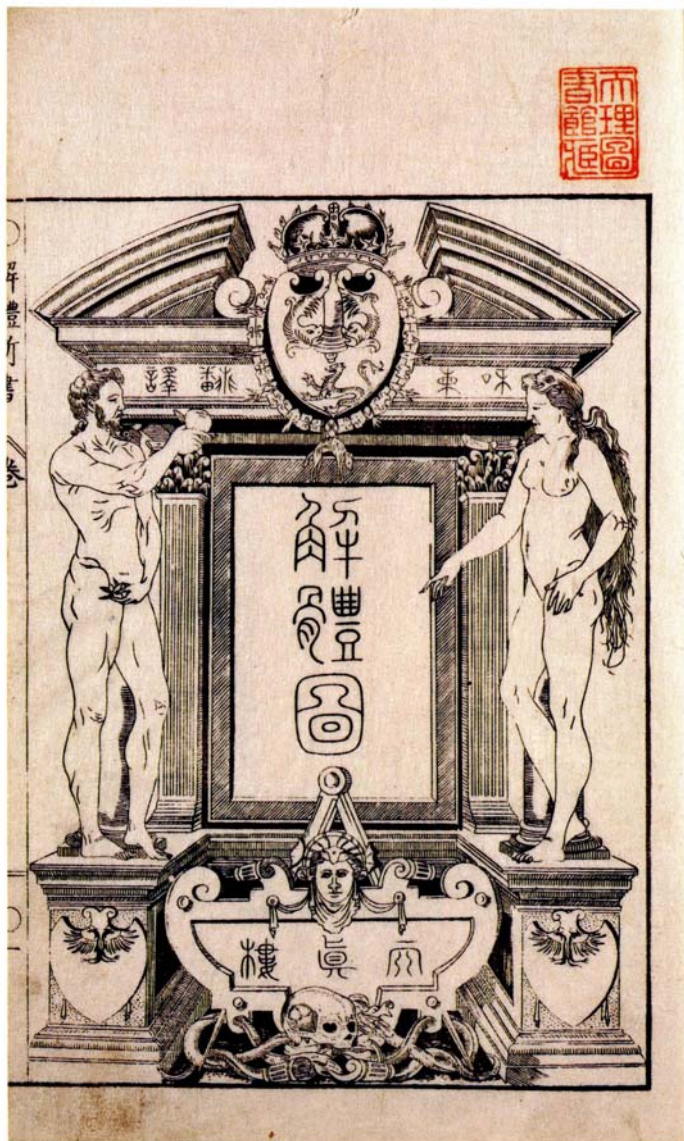


やまとの名品

天理図書館



かい たい しん しょ
解体新書

4 卷、序図 1 卷 5 冊

江戸 須原谷市兵衛 安永 3 年刊

縦 27.3 cm 横 18.3 cm

日本における最初の西洋解剖学書翻訳本。原本はドイツ人クルムス著『解剖図表』のオランダ語版で通称「ターヘル・アナトミア」と呼ばれていた。

明和八年（一七七二）、江戸骨ヶ原（小塚原）刑場で囚人の腑分け（解剖）を見た前野良沢と杉田玄白は、持参した「ターヘル・アナトミア」の正確な人体図に驚き、翌日から早速翻訳に取りかかった。ところが肝心のオランダ語知識は良沢が僅かに持つのみで、訳出の苦勞は「艦・舵なき船の大海に乗り出せしが如く」（蘭学事始）困難を極めた

と言う。

刻苦四年、稿を改めること十一回、ついに安永三年（一七七四）刊行に漕ぎつけた。しかし、この刊本には翻訳者杉田玄白とあるのみで指導者前野良沢の名はない。

翻訳が完成に近づいた頃、この書を公に出版するか否かで二人の意見が分かれた。学者肌の良沢は不十分な翻訳であることを理由に時期尚早であるとした。しかし、玄白は不十分ではあるが、進んだオランダ医学を早く世に知らせることが有益と考えた。『解体新書』刊行の意義は大きく、西洋医学を志すいわゆ

ターヘル・アナトミア



る蘭法医が急増。特に良沢と玄白のもとには多くの弟子が集まった。

本編四冊、序及び図版一冊。図版は秋田、角館の藩士であり画家でもあった小田野直武による。木版だが原書銅版の雰囲気をよく伝えている。

天理図書館は本書の安永三年刊本を二点、文政九年（一八二六）刊の大槻玄沢による重訂本を一点所蔵する。

（天理図書館 早田一郎）

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>
 平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）
 ただし8月6日～20日および29日は休み
 （本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）